

会 議 記 録

高松市附属機関等の設置、運営等に関する要綱の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会 議 名	平成 29 年度第 1 回高松市環境審議会
開 催 日 時	平成 29 年 12 月 5 日 (火) 15 時 00 分 ~ 16 時 15 分
開 催 場 所	高松市役所 11 階 114 会議室
議 題	議 題 (1) 会長及び副会長の選任について (2) 高松市環境基本計画の平成 28 年度取組状況について (3) 平成 29 年度版高松市環境白書(案)について
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上 記 理 由	
出席委員	12 人 三野 靖(会長)、古川 由美(副会長) 生嶋 暹、石川 恵美子、桑井 弘之、小松 秀雄、平 篤志、 多川 正、野崎 千恵、藤本 智子、間嶋 典子、元木 泰史
欠席委員	3 人
傍 聴 者	0 人 (定員 10 人)
担 当 課 及 連 絡 先	環境総務課 (TEL839-2388)

審議経過及び審議結果

議 題

(1) 会長及び副会長の選任について

会長に三野靖委員が、副会長に古川由美委員が選出された。

(2) 高松市環境基本計画の平成 28 年度取組状況について

事務局から、平成 28 年度の取組状況について内容を報告した後、意見交換が行われた。

(委 員)

地球温暖化防止対策のアンケートの内容について、アンケートを記入した人が内容をどの程度理解されているのか。自分では認識しないうちに、温暖化防止対策をすでにやっているケースもある。例えば、野菜を自分自身で栽培して隣近所で分け合ったり譲り合ったりする、地産地消の野菜を使う、などということも温暖化防止に有効な取組だと思う。そのような取組について、どのように評価していくのか。自分自身で取り組んでいるようなものもアンケートの項目に取り入れていけば、温暖化防止活動に自分も参加している、という意識づけになるのではないか。また、今月号の「広報たかまつ」に COOL CHOICE のことが掲載されていたが、小さな取組が温暖化防止活動に寄与するのだという意識を、少しずつでも市民の皆さんにもってもらえればと思う。

次に、廃食油について。例えば、私は自分で回収業者に廃食油の収集を依頼しており、昨年度は65リットル収集してもらった。また、他にも地域で独自に取り組んでいるケースなどがあれば、それらのデータも組み込めば回収量も増え、達成率も上がるのではないかと考えている。

(事務局)

地球温暖化防止の市民アンケートは、毎年度実施しており、平成28年度のアンケートは平成29年1月に、住民基本台帳をもとに校区ごとに無作為抽出した18歳以上の市民2,000人を対象に行った。郵送による方法で、回収率は43.2%であった。内容は、不要な照明や電気をこまめに消す、冷暖房の温度設定を考慮するなど、家庭で取り組める行動面についての記載もある。また、そのような内容とともに、住宅用太陽光発電や高効率給湯器を導入しているか、LED照明に変えているか、といった家庭における設備面についても質問する内容となっている。

また、COOL CHOICEは、環境省が中心となって展開している国民運動であるが、今年12月から来年2月にかけて「たかまつ COOL CHOICE キャンペーン」を展開しようと計画しているところである。まずは12月20日から24日までの間、瓦町FLAG8階の市民交流プラザIKODE瓦町でCOOL CHOICEの啓発パネル展を行い、年明けには様々なセミナーやものづくり体験なども計画している。今後も引き続き、温暖化対策やCOOL CHOICEに関する啓発を進めていきたいと考えている。

(事務局)

廃食油の収集量について、現在は、市の業務センターや21か所のコミュニティセンターで回収した量が指標として掲載されている。それ以外で、個人や地域で独自に取り組まれているものを把握できるかどうかについては、担当課と協議したいと思うが、基本的に環境基本計画の指標としては、市の業務センターと21か所のコミュニティセンターで回収した量をデータとして把握していきたいと考えている。

(委員)

文化財と廃食油の指標に関して、子どもの数も減少しているので、それを考慮すると、例えば家庭での食用油の使用量も減っていると思う。その辺りを達成率や評価にどう反映させていくのか。今年は、「文化財学習会・体験講座参加者数」の指標が達成率マイナスのE評価、「廃食油収集量」の指標が達成率0%以上50%未満のD評価となっているが、場合によっては評価がもっと高くなることも考えられるのではないかと考えている。

(事務局)

達成率は、26年度の基準値から31年度の目標値まで、毎年一定の割合で進捗していくと仮定して計算しており、その年度の達成率に応じてA、B、C、D、Eの評価をしている。子どもの減少率を考慮すれば評価が変わってくるのではないかと考えていると思うが、当初定めた目標値から達成率、評価を出しているものであり、今後目標値を見直す際には、子どもの減少等も考慮に入れながら設定を行う必要があるかと思う。

(会 長)

達成率の算出方法自体が、少し分かりにくいという点はあると思う。

(事務局)

達成率の算出方法は、前計画のときと同じ方法であり、また市の他の計画とも合わせているものもあるが、この方法で妥当かどうかについては、今後の課題としたい。

(3) 平成29年度版高松市環境白書(案)について

事務局から、平成29年度版高松市環境白書の概要と、事前に委員の方々から寄せられた意見に対する回答について報告した後、意見交換が行われた。

(委 員)

環境白書は、市内の小・中学校には配布しているのか。また、授業で活用してもらうように依頼をしているのか。

(事務局)

環境白書は、毎年1～2冊を市内の小・中学校やコミュニティセンターに配布しており、環境学習に役立ててもらっていることとしている。

(委 員)

授業で使ってください、というような依頼はしていないのか。

(事務局)

配布できる冊数にも限りがあり、授業で使用してください、というような直接的なお願いはしていない。各学校で社会科副読本等と合わせて活用しながら、環境学習をしていただいている、という状況である。

(委 員)

気象のデータについて、人口動向のように大きな変化がないものは5年ごとのデータでよいと思うが、気温については、例えば去年は暖冬で、野菜などにも影響が出たりした。また今年も、先月の平均気温が非常に低温であった、というような状況である。20～30年に1度とか、これまでになかったような特筆すべき事項があった場合には、環境白書に記載したほうがよいのではないか。

(事務局)

気象の項目では、毎年のデータではなく、昭和51年から平成28年を5年刻みでグラフにして掲載しているが、そうすることによって長期的な傾向がつかめると考えている。例えば昭和51年や昭和56年に比べると、平成28年は気温も上がっており、温暖化していることが考えられると思う。毎年のデータを掲載するとなると、過去数年間のものだけでは長期的な傾向がつかめなくなってしまう。本市の気象について、概要的に示すためには、5年刻みのグラフで長期的な傾向を示すのがよいのではないかと考えている。ただし、特筆すべきことが起きた年については、記載を検討したいと思う。

(委 員)

資源ごみ持ち去り防止対策について、持ち去りの情報が平成27年度、平成28年度と減少してきているということだが、いいことだと思うので、市の取

組が効果をあげている事例として、環境白書にも掲載すればよいのではないか。
(事務局)

資源ごみの持ち去りについては、確かなかなか周知する機会がない。現在は、組織的な持ち去りではなく、個人的な持ち去りがあるようだが、適正処理対策室に情報が入ってくる件数は減少しているという状況である。公表については、機会を設けていきたいとは考えているが、今後の検討課題としたい。

(委員)

高松市の動植物について掲載されている中で、イノシシの被害についても書かれているが、最近は何件も多くなってきているので、もう少し記述を増やしてもよいのかと思う。

(事務局)

鳥獣被害の防止対策ということで、別のページにイノシシ等への対策を掲載している。

(委員)

環境白書は非常に分厚く、読んでいる人も最初から最後まで通して読むのではなく、興味があるページをピックアップして読むと思うので、別ページに記載があるのであれば、「別ページ参照」というようなことを付け加えてもよいのではないか。

(事務局)

自然環境の動植物の部分については、外部の専門家の方に執筆をしていただいて掲載しているので、執筆者本人にも相談した上で、対応を検討したい。

(委員)

環境白書には、毎年多くのデータが載っているので、学校の授業や試験などで活用させてもらっているところである。折角よいものを作成しているのだから、先ほども小・中学校での活用について意見が出たが、それ以外でもイベント等の際に、冊子を配ったり設置したりすることができればよいと思う。

(事務局)

印刷部数が400～500部と限りがあるため、イベント等での積極的な配布は、検討したいと思うが、難しい面もある。

(会長)

市役所の印刷機を使って400～500部作成しているのか。それとも印刷製本しているのか。

(事務局)

業者に発注して、印刷製本している。

(会長)

印刷部数を少し増やしても、経費は大きく変わらないと思うが。

(事務局)

財政状況も厳しくすぐに印刷部数を増やすのは難しいが、委員の皆様の、積極的に配布して活用してほしいという御意見を踏まえながら、今後検討したい。

(会長)

市のホームページには掲載されているのか。

(事務局)

ホームページには、章ごとに分けて掲載している。環境総務課のページから誰でも見ることができるので、活用していただければと思う。